

A. 主な動き

1. 内政

・18日、A EIは、昨年12月30日に署名がなされた合意文書を公表。同文書は、大統領選出後に議会議長の座を民主党から自由党へ移行すること、大統領令発表の5日前に同案をA EI評議会に提示し同意を得る義務を大統領に課すこと等を明記。

・19日、タナセ法務相は、選挙参加の際に候補者の30%以上を女性とする義務を各政党に課すことを政府が決定したと発表。

・21日、ヴォローニン前大統領は、新A EIはモルドバ独立以降最も脆弱な政府であるとし、共産党を含めた大連立の必要性を再度表明。

2. 経済

・21日、国家エネルギー規制庁は、天然ガスの消費者向け代金の平均10.8%の値上げを同理事会に提案。

3. 外政

▼17日、フィラト首相とオルバーン・ハンガリー首相の電話会談

・17日、フィラト首相は、オルバーン・ハンガリー首相と電話会談、ハンガリーのEU議長国就任にあたり、モルドバ・EU関係の深化に期待を表明。オルバーン・ハンガリー首相は、ハンガリーがモルドバの国内改革及び欧州統合を支援する旨発言。

▼17日、フィラト首相とトゥスク・ポーランド首相の電話会談

・17日、フィラト首相は、トゥスク・ポーランド首相と電話会談、二国間関係及びモルドバ・EU関係につき協議。トゥスク・ポーランド首相は、フィラト首相の再任を祝福し、本年3月にモルドバを訪問する予定である旨発言。

▼その他

・18日、ルプ大統領代行は、シューベル駐モルドバEU大

使と会談、欧州統合がモルドバの内政及び外政の最優先事項であり、モルドバは対EU関係を深化拡大していく旨言明。

・21日、オバマ米大統領は、フィラト首相の首相再任を祝福するメッセージを發出。

4. 沿ドニエストル

・19日、カミンスキー沿ドニエストル「議会議長」は、同日開会した通常会議において、国民生活水準の向上、行政制度の近代化、国際社会による同地域主権の承認にむけた戦略策定等を軸とした法案採択を重視していく意向を表明。

・19日、ミジェイ駐モルドバEU特別代表は、任期の終了に伴い、カラシン露外務次官と協議、モルドバにおける政治プロセスの進展及びその沿ドニエストル問題解決に対する影響につき協議。

・19日及び20日、チェクオリスOSCE特使は、ヤストレブチャク沿ドニエストル「外相」及びレアンカ外務・欧州統合相等と会談、OSCE議長国のリトアニアが沿ドニエストル問題解決に向け積極的な役割を演じ、「5+2」者公式協議の再開を課題と掲げる旨発言。

・19日、ヨハネス駐モルドバ独大使は、カミンスキー沿ドニエストル「議会議長」及びヤストレブチャク沿ドニエストル「外相」と会談、前年の議会選挙の結果及び今後の憲法改正の見通し等について協議。

・20日、ギンプ自由党党首は、NATOの東方拡大により露軍が沿ドニエストル地域より撤退することは出来ない旨発言。

5. 防衛

Mig - 29 戦闘機の売却

・国防省は、2月1日にMig - 29 戦闘機6機の競売を行うと発表。2010年に3回競売を試みたものの、参加者不在により失敗している。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。

(了)